

「浦和くらしの博物館民家園」



旧浦和市農業協同組合三室支所倉庫



左/旧綿貫家住宅。中山道沿いで雑貨や砂糖などを扱っていた店蔵。塗屋造りと虫籠窓(むしこまど)が特徴。
右/旧高野家住宅。かやぶき屋根の商家建築で、中山道にひらけた浦和宿の中では最も古い建物の一つ。

昔の人々の息遣いを感じられる建物が並ぶ

豊かな自然が息づく見沼田んぼの中心に立つ「浦和くらしの博物館 民家園」。市内に残された伝統的な建物を後世に残そうと、平成7年に開館。江戸時代から大正にかけて実際に使われていた7棟の民家や商家、倉庫を移築復原して展示しています。

中でもひととき目立つのが、大谷石と漆喰の土蔵造りの石蔵「旧浦和市農業協同組合三室支所倉庫」。大正8年に栃木県で干瓢(かんぴょう)の倉庫として建設されたものが、昭和31年に緑区に移設され、米の倉庫として使われてきま

した。現在は国の登録有形文化財に指定され、中は展示室として活用されています。

奇棟かやぶき屋根の農家や塗屋造り(※)の商家を見れば、当時の人々の暮らしの一端に触れる貴重な経験に。園内は昔の情緒そのままに畑や池が広がり、古代蓮やシラサギなど四季折々の自然を楽しむことができます。

※塗屋造りとは、建物外部の柱や窓枠などを、土壁や化粧漆喰で塗り籠めて防火的にした町屋の代表的な建築様式をいう。



左/小学生による唐箕(とうみ)体験の様子。年間約70校の小学生が民家園を訪れ、体験学習を行っています。
右/旧野口家住宅。幕末に建てられ、当初は寺の庫裏(くり)として使用された。

浦和くらしの博物館民家園



浦和くらしの博物館民家園

◎ 9:00～16:30

◎ 月曜日(休日を除く) [休日の翌日・年末年始]
※休館日は変更することがあります。

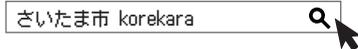
◎ 緑区下山口新田1179-1

🚶 JR武蔵野線東浦和駅から徒歩約25分

🚌 JR浦和駅より国際興業バス 東川口駅北口ゆき、または浦和美園駅ゆき「念仏橋」下車徒歩1分

まちづくりのコレカラ
ホームページでも公開中!

「『korekara』WEBサイト」や「ブックシェルフ埼玉」でバックナンバーを確認できます。ぜひご覧ください!



表紙について/さいたま新都心周辺を撮影した写真です。当地域には国土交通省関東地方整備局や、さいたま赤十字病院などの広域防災に貢献する施設が集積しており、災害発生時には首都圏の機能をバックアップする拠点として整備が進められています。

読者モニターも募集中!

「korekara」では、皆さんの声を広報誌の誌面に反映させるため「読者モニター」を随時募集しています。ぜひご登録ください。

お申し込み先

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
都市局都市計画部都市総務課 まで
TEL:048-829-1394 FAX:048-829-1979
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



もっと身近に、
もっとしあわせに